

品目別レポート（林産物：丸太、製材、合板）

■品目説明

〔丸太〕

丸太の輸出の多くは針葉樹で、スギ、ヒノキなどが主に輸出されている。農林水産省令和元年木材統計によれば、国産材供給量を針葉樹、広葉樹別にみると、針葉樹は1,803万7千立方メートル（前年比9.2%減）、広葉樹は184万5千立方メートル（同8.0%減）だった。素材供給量のうち国産材は1,988万立方メートル（同9.1%減）、輸入材は366万立方メートル（17.8%減）となり国産材の占める割合は84.4%となった。

〔製材〕

製材とは、素材（丸太、原木）を鋸挽きした木材製品で「挽き材」とも呼ばれ、板類、挽き割類、挽き角類の3種に大別される。さねはぎ加工、溝付け、そのほかこれらに類する加工が縁または面に沿って連続的に施される場合もある。多くが建築に使われるが、そのほかにも家具、建具、土木、輸送および梱包材、造船、車両などに利用されている。同木材統計によれば、製材品出荷量は820万3千立方メートルで、前年に比べ82万9千立方メートル（9.2%）減少した。

〔合板〕

木材を切削した、通常厚さ4ミリ程度以下の薄い板のことを単板といい、この単板を互いに繊維方向が直角になるように奇数枚、接着剤で重ね合わせた板状の材料を合板と呼ぶ。接着剤の種類によって耐水性が異なる。日本では、合板を「ベニヤ板」と呼ぶこともあるが、英語のベニヤ（veneer）は単板を指し、合板を指す単語はplywoodである。単板の原料には、太く、丸く、まっすぐで節などの少ない木材が適している。同木材統計によれば、普通合板生産量は299万9千立方メートルで、前年に比べ33万8千立方メートル（10.1%）減少した。

■貿易概況

〔丸太〕

▼表1：日本の丸太輸出

（単位：ドル、m³、%）

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
中国	104,177,169	927,500	108,654,141	944,478	122,397,263	1,156,972	12.6	22.5
韓国	17,577,591	123,223	14,949,372	101,896	16,984,444	119,509	13.6	17.3
台湾	9,734,359	74,620	9,024,931	74,281	9,908,992	83,132	9.8	11.9
ベトナム	1,758,388	9,087	1,564,893	8,273	3,329,080	22,303	112.7	169.6
カンボジア	5,838	47	165,986	420	558,694	1,430	236.6	240.5
全世界	133,991,759	1,136,599	134,676,908	1,130,115	153,381,070	1,383,717	13.9	22.4

注：対象はHSコード 4403

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

日本の丸太輸出は前年比 13.9%増の 1 億 5,338 万ドル、数量ベースで同 22.4%増の 138 万トンとなった。主要輸出先である中国向けが同 12.6%増の 1 億 2,239 万ドルとなったことが寄与した。2018 年 8 月には、中国で日本の建築基準法に相当する「木構造設計規範」改定版が施行され、日本の伝統的な「木造軸組工法」の利用が基準に盛り込まれたほか、日本のスギ、ヒノキ、カラマツの木造建築で使用できる樹種のリストに追加された。

〔製材〕

▼表 2：日本の製材・加工材輸出

(単位：ドル、m³、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
米国	11,128,534	24,945	11,929,293	25,961	24,645,959	53,230	106.6	105.0
中国	20,259,607	64,830	16,335,834	64,780	15,029,015	65,558	△ 8.0	1.2
フィリピン	12,053,938	31,880	12,071,374	31,278	10,552,453	27,411	△ 12.6	△ 12.4
韓国	5,984,181	9,199	6,888,927	11,182	6,787,535	11,286	△ 1.5	0.9
台湾	3,323,882	11,424	3,844,898	8,992	4,720,489	11,638	22.8	29.4
全世界	58,452,525	149,447	57,716,174	149,757	66,161,749	174,866	14.6	16.8

注：対象はHSコード 4407、4409

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

日本の製材輸出は、金額ベースで前年比 14.6%増の 6,616 万ドル、数量ベースでは同 16.8%増の 17 万 4,866 トンとなった。主要相手国別では米国が 1 位で前年比 106.6%増の 2,464 万ドル、2 位が中国で同 8.0%減の 1,502 万ドルであった。3 位のフィリピンは金額で同 12.6%減、数量で 12.4%減。

〔合板〕

▼表 3：日本の合板輸出

(単位：ドル、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
フィリピン	57,114,130	—	52,027,532	—	47,848,348	—	△ 8.0	—
中国	5,580,749	—	5,490,526	—	4,960,191	—	△ 9.7	—
インドネシア	494,481	—	854,363	—	576,542	—	△ 32.5	—
韓国	514,620	—	533,533	—	317,846	—	△ 40.4	—
米国	569,592	—	458,531	—	504,201	—	10.0	—
全世界	68,311,180	—	63,249,916	—	58,036,191	—	△ 8.2	—

注：対象はHSコード 4408、4412

注：統計は金額のみ

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

日本の合板輸出は、前年比 8.2%減の 5,803 万ドルとなった。主要相手国別にみると、1 位はフィリピンで前年比 8.0%減の 4,784 万ドルとなった。同国がシェア 82.4%となっている。

■海外事情

〔丸太〕

●中国

▼表4：中国の丸太輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ニュージーランド	2,451,227,675	13,512,310	2,277,435,304	13,747,019	1,892,093,608	12,477,111	△ 16.9	△ 9.2
ドイツ	164,948,172	767,650	559,768,003	3,312,565	1,247,954,479	7,338,431	122.9	121.5
ロシア	1,296,512,358	9,332,374	909,057,551	6,674,090	752,075,979	5,538,710	△ 17.3	△ 17.0
米国	1,392,239,698	5,599,057	738,015,366	3,251,841	664,809,921	3,009,277	△ 9.9	△ 7.5
オーストラリア	619,566,470	4,137,043	587,132,438	4,384,701	494,683,911	4,185,599	△ 15.7	△ 4.5
日本 (12位)	126,240,254	801,343	127,386,262	806,562	142,029,132	993,124	11.5	23.1
全世界	10,983,341,428	51,610,711	9,434,519,324	49,932,950	8,405,144,085	48,762,752	△ 10.9	△ 2.3

注：対象はHSコード 4403

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

中国の丸太輸入は前年比 10.9%減の 84 億 514 万ドル、数量ベースで 2.3%減の 4,876 万 2,752 トンとなった。主要相手国別にみると、1位はニュージーランドで前年比 16.9%減の 18 億 9,209 万ドル、2位がドイツで同 122.9%増の 124 億 4,795 万ドル、3位がロシアで同 17.3%減の 7 億 5,207 万ドルとなった。日本は 12 位で前年比 11.5%増の 1 億 4,202 万ドルとなった。

これまで日本の中国向け丸太の多くは、スギの低価格、低質な丸太輸出となっている。内閣官房に設置された農林水産業の輸出力強化ワーキンググループによる『農林水産業の輸出力強化戦略(平成 28 年 5 月)』では、ヒノキの健康効果を活かした PR を、特に少子化により子供へ投資する意識が高い中国で展開することや、中国木構造設計規範の改定により、スギ、ヒノキの構造材利用が進むことが想定されることから、輸出向け製品仕様の作成や、日本の加工技術を活かした製品開発等による日本産木材製品のブランド化の推進が重要としている。

〔製材〕

●中国

中国の製材・加工材の輸入は前年比 10.0%減の 78 億 458 万ドル、数量ベースでは同 10.8%減の 2,186 万 9,090 トンとなった。主要相手国別では、1位がロシアで前年比 13.5%減の 27 億 9,577 万ドル、2位がタイで同 8.4%減の 9 億 5,082 万ドル、3位が米国で同 6.2%減の 7 億 7,517 万ドルとなった。日本は 39 位で、前年比 5.7%減の 1,554 万ドルであった。

▼表5：中国の製材・加工材輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ロシア	3,269,553,885	11,937,883	3,233,409,532	12,551,376	2,795,771,303	10,445,557	△ 13.5	△ 16.8
タイ	1,496,512,279	3,326,101	1,037,624,226	2,730,068	950,822,452	2,737,067	△ 8.4	0.3
米国	1,658,833,269	1,915,976	826,788,870	1,091,327	775,176,163	1,075,287	△ 6.2	△ 1.5
カナダ	956,638,133	2,322,595	890,631,151	2,464,369	566,253,382	1,577,800	△ 36.4	△ 36.0
ガボン	304,005,965	481,190	263,760,484	468,893	241,713,695	459,929	△ 8.4	△ 1.9
日本 (39位)	18,666,427	42,402	16,493,139	43,999	15,548,711	41,791	△ 5.7	△ 5.0
全世界	10,264,596,664	24,724,958	8,675,206,212	24,517,094	7,804,581,362	21,869,090	△ 10.0	△ 10.8

注：対象はHSコード 4407、4409

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

〔合板〕

●フィリピン

▼表6：フィリピンの合板輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
中国	194,716,704	564,334	174,677,410	523,422	150,277,229	470,221	△ 14.0	△ 10.2
日本	58,631,502	53,286	55,123,807	49,035	49,572,607	46,148	△ 10.1	△ 5.9
インドネシア	18,300,607	11,376	14,833,273	9,952	13,145,353	9,100	△ 11.4	△ 8.6
マレーシア	16,016,008	14,575	14,732,458	17,659	9,551,479	9,617	△ 35.2	△ 45.5
ベトナム	6,398,875	14,464	4,629,264	9,713	4,061,532	8,589	△ 12.3	△ 11.6
全世界	301,320,511	676,801	272,146,925	631,626	236,712,861	577,087	△ 13.0	△ 8.6

注：対象はHSコード 4408、4412

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

フィリピンにおける合板輸入は、前年比 13.0%減の 2 億 3,671 万ドルとなった。主要相手国別にみると、1 位が中国で前年比 14.0%減の 1 億 5,027 万ドル、2 位が日本で同 10.1%減の 4,957 万ドル、3 位がインドネシアで同 11.4%減の 1,314 万ドルとなった。

日本の住宅メーカーが現地の関連工場に輸出し、住宅部材に加工して、日本に再輸出している。輸出急増の理由は、マレーシアでの丸太の伐採制限強化により同工場で使用する合板をこれまでの南洋材から日本産に切り替えたためという。

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-5186

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。